

春－6 吹田いいとこ

1. 活動の目的

- ①吹田のいいところ、魅力を知って、自分の住んでいる地域に親しみと愛着を持つ。
- ②地域の知り合いや同じ国の人とのネットワークについて話す。

2. 準備するもの（☆は教材ファイルにあるもの）

- ☆日本・大阪府の地図
- ☆吹田観光リーフレット
- ☆太陽の塔の写真
- ☆太陽の塔・よくある質問と答え（ボランティア用）
- ・ふせん、サインペン、大きい紙

3. 活動の手順

発：発展的活動 **留**：留意点 **参**：参考

活動1

日本・大阪府
の地図

- ・地図を見る前に吹田市は大阪府の北、真ん中、南のどの辺にあるか聞いてみる。
大阪府の「市」の中で（大阪市以外で）広い方だと思うか、近隣の市の名前を知っているかなど聞いてみるのもよい。
- ・次にテキストの地図を見て吹田市に印をつけてもらう。
資料の「日本・大阪府」の地図を見て、実際の位置を確認する。
- ・円グラフを見てテキストの質問に答えてもらったあと、正解を示し、100人に1人は多いと思うか少ないと思うか聞く。学習者が下の①～③の国籍以外の場合は、よく韓国や中国の人を見るか聞いたりする。
[答え]
外国人人口比率：100人に1人（約1.38%）
国籍別人口（人数が多い順に）：1位・中国 2位・韓国 3位・台湾
(いずれも平成30年度調査による)

活動2

吹田観光
リーフレット

- ・キムさんの話を読んで、学習者もそう思うかどうか（自然が多い、等々）聞いてみる。
- ・さらに学習者が吹田へ初めて来たとき、また現在の印象を聞く。学習者から話が出にくければ、自然環境、交通、店の数や人の印象などについて具体的に聞くと話しやすいだろう。
例：道路はどうですか。広いと思いましたか。
- ・吹田観光リーフレットを見ながら、生活圏や知っている場所等について話す。
- ・日常生活で会話をしたり挨拶をする知り合いがいるかどうか聞く。
- ・同じ国の友達や知り合いが何人ぐらいいるか、近くに住んでいるか聞く。
どこでどうやって知り合ったか、よく会ったり、連絡したりしているか等。

発 ここで、学習者同士の情報交換の時間をとってよいだろう。学習者の中にまだ、地域でネットワークが持っていないと思われる人がいたら、出会いの場としてSIFAでの教室やイベントがあることを紹介する。

活動3

ふせん
サインペン
大きい紙

- ・「吹田生活のアドバイスや、吹田の魅力を、新たに来た人に話す」という設定であることを説明する。
 - ・伝えたいことを各自ふせん1枚に1件ずつ書き出して、机の上の大きい紙に張り付ける。
 - ・ある程度出そろったら、書いた本人に内容をひとつずつ説明してもらう。
 - ・ボランティアが、内容ごとにグループに仕分けする。
- 例：生活、休みの過ごし方、仕事 等々。

発 すべての学習者から情報が集まったら、それを整理していくつか選び出す。新たに模造紙等書き直して貼り出してもよい。

活動4

太陽の塔写真
太陽の塔・よくある質問と答え
(ボランティア用)

- ・「太陽の塔」の写真を見せて目的を説明する。
「これは吹田市にあります。ジョン君のように日本人の友達に説明するための練習をします。」
 - ・写真を見て、ボランティアに質問しながら情報を取り、テキストにメモを残す。ボランティアは「太陽の塔・よくある質問と答え（ボランティア用）」を参考にし、学習者の質問に答える。
 - ・わかった情報を理解して、日本語で説明する練習をする。
- 学習者1人が案内役（ジョン）、もう1人が質問する役（太郎）になり、ロールプレイをする。

参 マンホールのふたのデザインは各自治体の個性が出ているが、吹田市は中央に「太陽の塔」、その周りに市民の木「くすのき」、さらに外側に市民の花「さつき」がデザインされている。

「マンホール蓋学会」のサイトでは、全国各地の色々な楽しいマンホールの蓋が見られる。豊中市は「マチカネワニ」箕面市は「箕面の滝」のデザイン。

留 吹田市民でない学習者もいるので、その場合は彼らの住んでいる所や、過去に住んでいた所の話をしてもらおうと良い。